



みなみせや

子どもたちと共に学ぶ

副校長 弘部 奈実

今年度は、本校に3人の初任教諭が配属され子どもたちと共に生き生きと学級経営に励む毎日を過ごしています。学生の時に大学でしっかり勉強し、教育実習でも多くのことを学んだうえで採用され、子どもたちの指導を任されています。しかし「教師」としては初めの一步を踏み出したばかりです。実際に子どもたちと共に学び、子どもたちの成長を促していく日々は悩みや迷いの多い日々でもあります。

横浜では、法定研修である1年目の初任者研修に加え、3年目まで研修が義務付けられています。1年目では、週に一日初任者指導教諭がつき、その日の授業を通して丁寧に指導を受けます。子どもたちが生き生きと活動する姿について話し合ったり、子どもたちと共に創る学習について先輩教師と考えたりする体験は、初任教諭と先輩教師双方の成長につながっていきます。本校でも6月に公開授業を実施して学びあいを深めたところです。

さて、7月に入り、夏休みまであと3週間となりました。

担任たちは、夏休み明けの子どもたちの成長を願いながら、あと数日の授業はどのように進めていけばよいか、また、夏の課題はどんなものがよいか、どのぐらいの量なら「少し頑張れば」最後まで取り組むことができるか、目の前にいる児童一人一人を見つめながら日々検討しています。夏休みまでの数日間、子どもたちも、担任の期待に応えようと頑張っています。夏休みには、ご家族に見守られながら課題に取り組んだり、夏休みだからこそできる体験をたくさんしたりして心も体も大きく成長することを期待しています。楽しかったことや頑張ったこと、うまくいったことやいかなかったことなどをご家族でできるだけたくさん語り合っ欲しいと思います。そして、体験したことのすべてが自分を成長させてくれる出来事だと感じ取り、体験を支えてくれた『人・こと・もの』のすべてに感謝できるようにと願っています。夏休み明けに子どもたちと様々な思い出を語り合うことを楽しみにしています。

今年も酷暑になると報じられています。皆様がお元気で、充実した夏休みを過ごされますようお祈りしております。